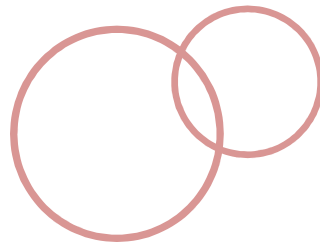
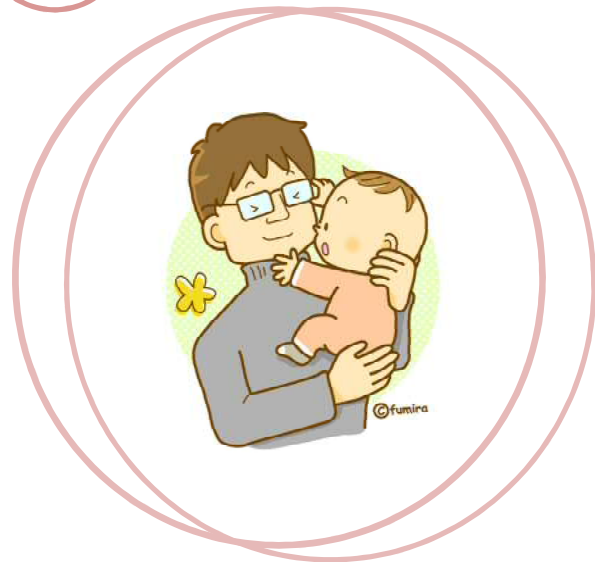
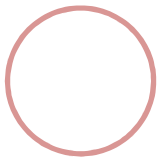


# こしがや孫育てガイドブック



## ◆◇もくじ

1. みんなにいいこと！孫育てのメリット ----- P3
2. サポートするときのポイント ----- P4
3. 子育ての昔と今 ----- P5
4. 家の中の危険度チェック ----- P9
5. 主な子育て支援事業 ----- P10
6. お出かけスポット ----- P13
7. 緊急連絡先 ----- P14



## 1. みんなにいいこと！孫育てのメリット 🍊

おじいちゃん、おばあちゃんが子育てのサポートをすることで、みんなそれぞれにいいことがたくさんあります。また、お互いの手助けが必要なときに支え合う関係を築くことにも繋がります。

### おじいちゃん、おばあちゃん

- 孫を通じて地域での新たなつながりができる。
- 刺激を受けて元気をもらえる（老化防止にもなる！）
- 生活に張りが出る。
- 新たな生きがいもてる。

### 子ども（孫）

- たくさん愛情を受けることで情緒が安定する。
- いろいろな人と関わることで、社会性が育まれる。
- さまざまな考え方を知ったり、経験することができる。

### パパ・ママ

- 負担感やストレスが軽減する。
- 余裕をもって子どもと向き合える。
- 子育てと仕事の両立がしやすくなる。



## 2. サポートするときのポイント 🍊🍊

子育ての大先輩である祖父母はとても心強い存在ですが、子育ての主役はパパとママ。ぎこちなくて危なっかしい様子から、つい色々を手伝ってしまいたくなりますが、祖父母はあくまでもサポーターです。そっと見守り、無理のない範囲でサポートしましょう。

また、慣れない赤ちゃんとの生活で、パパ・ママは不安に感じてしまいがちです。「大丈夫、いい子に育てているよ」とエールを送ってあげてください。



### ポイント

- パパ・ママの子育て方針を聞く。
- 「ここは任せて」「これは手伝って」というような、お互いの領域をきちんと伝え合う。
- できないこと、やりたくないことをはっきりさせておく。
- 自分たちのライフスタイルを大切に、体力と相談しながらがんばりすぎず楽しむ。



### 3. 子育ての昔と今 🍌

子育てを取り巻く情報は変化するため、祖父母世代と子育て世代では良いとされる子育ての方法にも違いが生じます。パパ・ママが育った頃と現在でどう変わったのか、主なものを集めてみました。

	パパ・ママが育った頃
授乳	3時間おき。 ミルクの方が栄養があると言われていた。
卒乳	母子健康手帳に「1歳までに断乳の完了」という記載があった。
離乳食	ビタミンCが不足しがちだったこともあり、 離乳食の前段階として3～4か月頃から果汁 を与えた。 
むし歯予防	離乳食で大人が噛み砕いたものを与えることがあった。
だっこ	泣くたびにだっこすると抱きぐせがつく。
おむつ	おむつはずしは早い方がよいとされていた。 



## 現在

母乳は赤ちゃんがほしがったら。

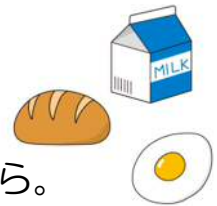
母乳には赤ちゃんに必要な栄養が適量で含まれていることがわかっているため、親子に合ったかたちであれば母乳・ミルクどちらでもOK。

いつまでにといい決まりはなく、自然の流れで卒乳。

母乳・ミルクに十分な栄養素が入っているため、果汁を与える必要はない。初めての食材は平日の午前中に食べさせる。

★アレルギーに注意。

また、中毒になる危険があるためはちみつは1歳を過ぎてから。



生まれたばかりの赤ちゃんの口の中にむし菌はいない。

噛み砕いたものをあげたり、箸やスプーンの共有はしない。

抱きぐせがつくことはない。

だっこされることで心が安定し、情緒豊かに成長する。



おむつはずしは、子どもの体調や発達を見ながら焦らず行う。

★パパ・ママが焦っていても「いつかは必ずとれるから」と声をかけてあげましょう。

★紙おむつと布おむつのどちらを選んでも、愛情の深さや成長に差がでることはありません。

参考→P8 お世話の基礎知識（紙おむつ）

パパ・ママが育った頃	
うつぶせ寝	頭の形がよくなる、寝つきがよくなる。
日光浴	母子健康手帳にも記載があり、勧められていた。
厚着・薄着	風邪をひかないように厚着させることが多かった。
チャイルドシート	小さな子どもは大人がだっこしていた。



## 現在

乳幼児突然死症候群（SIDS）から赤ちゃんを守るため、必要なとき以外はあおむけで寝かせるようにする。

赤ちゃんは紫外線の影響を受けやすいため、外気浴が勧められている。

紫外線が強い時間帯を避け、帽子などで直射日光が当たらないように。



今の赤ちゃんたちは快適な室温で過ごしているため、暖かいときには大人より多少薄着に、寒いときは1枚多くを目安に衣服の調節を心がける。

6歳未満の乳幼児には使用が義務づけられている。  
祖父母の車に乗るときでも必要。

### ◆お世話の基礎知識（紙おむつ）◆

#### ①紙おむつを広げる

ギャザー部分をしっかりと立て、  
新しい紙おむつをおしりの下に敷く。  
※テープのついている方が背中側です。

#### ②紙おむつを交換する

おしりを拭いて汚れた紙おむつを抜き、  
新しい紙おむつのテープを留める。





## 4. 家の中の危険度チェック

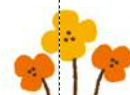
大人が環境を整え気をつけておくことで、事故を未然に防ぎましょう。子どもと過ごす部屋を限定することも重要です。

- 子どもが触ると危険なものは、手の届かないところに置いてありますか。  
(アメ玉、ボタン、硬貨、指輪、タバコ、薬、マッチ、化粧品、洗剤、カミソリ、電池等)
  - ★コンセントにはキャップをつける
  - ★観葉植物の土にも注意
  - ★アイロンは使い終わったら片付ける
  
- ポット、炊飯器等は子どもの手の届かないところに置いてありますか。
  
- 階段や段差のあるところには、子どもが落ちないように対策がしてありますか。
  - ★危険なところにはベビーフェンスを設置
  
- ビニール袋やラップ等を子どもの手の届かないところに置いてありますか。
  
- 机、食器棚等の家具、あるいは角や縁の鋭い部分は安全ですか。
  
- テーブルクロスは使用していませんか。
  
- ストーブやヒーターは子どもが触れないようにガードしてありますか。
  
- 入浴後、浴槽のお湯は抜いてありますか。
  
- ベランダや窓の側に踏み台になるものはありますか。

## 5. 主な子育て支援事業

越谷市で行っている主な子育て支援事業です。事業の詳細やその他の事業については、「こしがや子育てガイドブック」や「こしがや子育てネット」でご確認ください。

	妊娠後	0歳	1歳	2歳	3歳	4～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	
妊娠・出産	母子健康手帳交付									
	妊産婦訪問	新生児訪問								
	母親・両親学級	離乳食教室								
親子の健康	妊婦健康診査	4か月児健診、10か月児健診	1歳6か月児健診		3歳児健診					
		予防接種(BCG、麻しん風しん混合、日本脳炎等)								
子どもを預けたいとき		保育所(園)								
		ファミリー・サポート・センター、緊急サポートセンター								
		保育ステーション、地域子育て支援センター								
手当等		児童手当								
		こども医療費支給制度								
		児童扶養手当、特別児童扶養手当								



### ◇こしがや子育てガイドブック

子育て支援課の他、北部・南部出張所、保健センター、児童館コスモス・ヒマワリで配布しています。ホームページからもダウンロード可能です。

<http://koshigaya-kosodate.net/2013013000071/>



### ◇こしがや子育てネット

子育て情報を探すならココ！をモットーに、越谷の子育て情報を掲載しています。

<http://koshigaya-kosodate.net>



### ◆こしがや子育てクワイエ


子育て中・子育てを応援する市民や、サークルの方が身近な子育て情報を発信しています。子連れの方におすすめのお出かけや遊びなど、子育てが楽しくなる情報満載です。

<http://q-waie.koshigaya-kosodate.net>





		内容、手続き等	問い合わせ先
妊娠・出産	母子健康手帳	保健センター、市役所の窓口へ妊娠届出書を提出してください。	市民健康課 (保健センター) 978-3511
	妊産婦訪問 新生児訪問	助産師または保健師が、妊婦や赤ちゃんとお母さんを訪問し、育児などの相談をお受けします。 ◆母子健康手帳別冊にある「出生連絡票」に記入し、こども医療費受給資格登録時、市役所子育て支援課または北部・南部出張所へご提出ください。	
	母親・両親学級	妊娠、出産、育児に関する正しい知識を身につけるための講習会です。 ◆ホームページや保健カレンダー等で日程を確認の上、市民健康課へ電話でお申し込みください。(申込み期間初日から先着順)	
	離乳食教室	離乳食の講話とデモンストレーション、試食、相談。 ◆事前に予約が必要です。実施前月から市民健康課で電話でお申し込みください。	
親子の健康	妊婦健康診査	14回分の助成券が交付されます。妊娠週数に合わせた健診を受けましょう。 ◆母子健康手帳と一緒に交付される助成券を受診時に医療機関へ提出してください。委託医療機関以外で受診する場合は、出産後、別途助成を受けるための手続きをしてください。	市民健康課 (保健センター) 978-3511
	乳幼児健康診査	生後2か月頃に、予防接種の書類とともに健康診査票が送付されます。実施医療機関に電話で予約して受診してください。	
	予防接種	乳幼児期に必要な予診票は生後2か月頃に、その他は該当の年齢に通知していますので、確認の上、接種をお受けください。転入した方や市外の医療機関で接種希望の方は市民健康課へご連絡ください。 ◆必要なもの：予防接種予診票、母子健康手帳	
子どもを預けたいとき	ファミリー・サポート・センター	お子さんの預かりや保育施設までの送迎など、利用会員のニーズに合った提供会員(子育ての援助を行う方)を紹介します。 小学校修了までのお子さんが対象。1時間700円~1,100円。 ◆事前に登録が必要となります。ファミリー・サポート・センターへご連絡ください。	ファミリー・サポート・センター 960-2311
	緊急サポートセンター	お子さんの病気、急な出張、保育施設からの急な呼び出しがあった場合の送迎など、緊急性を伴う預かりや宿泊を伴う預かりを会員同士の相互の助け合いで行います。 ◆事前に登録が必要となります。緊急サポートセンターへご連絡ください。	緊急サポートセンター 048-297-2903
	一時預かり	急用等でお子さんの保育に困ったとき、リフレッシュを図りたいときなどに一時預かりをしています。	—

		◆事前に登録が必要です。各施設へお問い合わせください。		
子どもを預 けたいとき	地域子育て支援センター (満1歳～就学前)	おひさまの子 960-5800	たんぼぼ 979-0520	
	すくすく 990-5003	たけのこ 977-5311	ちきんえっぐ 970-2280	
	げんき 988-0863	ぼかぼか 971-8115		
	きらきら 080-1058-3953	保育ステーション(4か月～就学前)		
	にこにこ 970-5611	南越谷保育ステーション 987-6300		
	おへその広場 988-8180	北越谷保育ステーション 970-8200		
	保育所(園)	お子さんをお連れになり、子ども育成課の窓口で申し込みをしてください。入所希望月の前月10日が締め切りです。 ◆母子健康手帳、所得を証明する書類などが必要です。要件によって必要書類が異なりますので、子ども育成課へお問い合わせください。		子ども育成課 963-9167
手当等	児童手当	お子さん1人あたりの手当額 3歳未満、3歳以降(第3子以降): 15,000円 3歳以上(第1子・2子)、中学生: 10,000円 所得制限該当: 5,000円 ◆転入や出生の場合、15日以内に子育て支援課または北部・南部出張所で申請してください。 必要なもの: ①申請者の健康保険証、②申請者名義の預金通帳、③所得証明書(転入の方のみ)		子育て支援課 963-9166
	こども医療費	中学校修了までのお子さんが病気やケガなどで医療機関に支払った医療費の一部を、越谷市が保護者に支給します。(保険外の医療費、入院時の食事療養費は自己負担) ◆子育て支援課または北部・南部出張所で申請してください。 必要なもの: ①お子さんの健康保険証、②申請者(お子さんを養育している父母等)名義の預金通帳		
	児童扶養手当	父母の離婚、父または母の死亡などによって、父または母と生計を同じくしていないお子さんや、父または母に一定の障がいのあるお子さんを養育している方に支給します。 対象: 18歳になる年の年度末までのお子さんを養育している方 (一定の障がいのあるお子さんは20歳未満) ◆戸籍謄本などが必要ですが、手当を受ける人の支給要件によって必要書類が異なります。子育て支援課の窓口でご相談ください。		
	特別児童扶養手当	精神または身体に一定の障がいがある20歳未満のお子さんを養育している方に支給します。子育て支援課へご相談ください。		子育て支援課 963-9172

## 6. お出かけスポット

市内には子育てサロン6箇所、地域子育て支援センター14箇所があり、未就学のお子さんと保護者の方にご利用いただけます。また、児童館は18歳未満のお子さんと保護者の方にご利用いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

その他、図書館（室）で絵本の読み聞かせ等も行っております。

詳細は、こしがや子育てガイドブックや子育てネット等（P6）でご確認ください。

子育てサロン		地域子育て支援センター	
ヴァリエ	961-3623	たけのこ（おおたけ保育園内）	977-5311
水辺のまちづくり館 （レイクタウン4-1-4）	961-3623	げんき （越谷レイクタウンさくら保育園内）	988-0863
つどいの広場はぐはぐ （生協越谷生活館1階）	080-2055-2092	きらきら（松沢保育園内）	080-1058-3953
みんなのひろばフェリーチェ （コブみらいコブ北越谷店2階）	971-3808	森のひろば （わかばの森ナーサリー内）	993-4154
児童館コスモス	961-3623	おへその広場 （の〜びる子どもの家保育園内）	988-8180
児童館ヒマワリ	961-3623	たんぼぼ（袋山保育園内）	979-0520
児童館		のびるば広場 （南越谷保育ステーション隣）	987-7088
児童館コスモス	978-1515	ちきんえっぐ （越谷どろんこ保育園内）	970-2280
児童館ヒマワリ	986-3715	地域子育て支援センター	
おひさまの子（増林保育所内）	960-5800	こあら教室 （認定こども園小牧内）	985-4890
にこにこ（新方保育所内）	970-5611	あおいとり （埼玉東萌保育園内）	973-7463
ほかほか（荻島保育所内）	971-8115		
すくすく（南越谷保育園内）	990-5003		



## 7. 緊急連絡先

急病になったとき、受診した方がよいかわからないとき

◇埼玉県救急電話相談 #7119

048-824-4199(ダイヤル回線、IP 電話、PHS)

◇埼玉県救急医療情報センター 048-824-4199

◇越谷市夜間急患診療所 960-1000

※受診前に電話連絡をお願いします

診療科目：内科、小児科（内科的疾患）

診 療：午後 8 時～午後 11 時

（受付は午後 7 時 30 分～午後 10 時 30 分）



平成 29 年 12 月

越谷市子ども家庭部子育て支援課

〒343-8501 越谷市越ヶ谷四丁目 2 番 1 号

電話：048-963-9165

